被災者寄 り 添

水道料金・下水道使用料など 新税率の適用は今月の請求分から

昨年10月1日からの消費税率引き上げに 伴い、令和元年度5期(令和2年1月請求) 分より水道料金・下水道使用料などに新税率 10%を適用します。不明な点はお問い合わせ

問い合わせ

ください。

者寄り添い室を設置しまし

たに保健福祉部内に被災

たのは部長級から主事級ま動を発令しました。異動し伴い、11月25日付で人事異

るため、

25 日 付

・相談支援をさらに推進四日本豪雨被災者の見る

本豪雨被災者の見守

- ▼水道料金 上水道課業務係(☎® 8326)
- ▼下水道使用料など 下水道課下水道係(☎ 92 8322)



チュッピーウォーター は軽減税率の対象だから 8%のままだよ

市役所玄関などで お買い求めください



復 興

問い合わせ い室を新設

被災者寄り添い室(四98317)

日本豪雨被災者の支援を推進



清音福祉センターに開設された避難所で受け付けを行う地域住民

大雨で高梁川や 転部川が増水し、道 をが発生したと想定。 が発生したと想定。 が発生したと想定。 た避難所へ、 のち、で された。 はなって、 がました。 また、 西本豪雨での経験を 日本豪雨での経験を はなどに取り組 難所の開設訓 瀬や認

た。

よる防災講話も行

わ れま

か、 実施。 L I N た消防団員 災害対策本部で 清音出 市 避難を呼び掛けたほNEを活用した訓練を 動画を収: の各地区に配置 張所に設置され



災組織、 を実施。

消防、

警察な

実施。地域住民や自主防ーを拠点に夜間防災訓練ーを拠点に夜間防災訓練

避難者支援の炊き出し訓練も実施

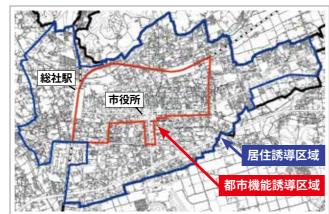
総社市**立地適正化計画**を策定

人口減少・超高齢社会に対応するまちづくりを進 めるため、総社市立地適正化計画を策定しました。 福祉や商業などの施設を都市の拠点に誘導し、誰 もが暮らしやすいコンパクトなまちを目指します。 計画は、4月1日から運用開始します。

特定区域での建築・開発行為などは 4月1日から届け出が必要です

以下のことを行う場合、着手の30日前までに届け 出が必要です。

- ◇居住誘導区域外での一定規模以上の住宅建築や開発 行為など
- ◇都市機能誘導区域外での誘導施設の建築や開発行為
- ◇都市機能誘導区域内での誘導施設の休止や廃止



居住誘導区域

住宅など人の住まいを誘導する区域。人口を維持し 生活サービスやコミュニティを確保する

都市機能誘導区域

健康増進や子育て、商業の機能をもつ施設を誘導す る区域。都市機能を集約し生活しやすいまちをつくる

計画や各誘導区域・誘導施設、届出制度など、詳しくは市ホームページをご覧ください。 問い合わせ 都市計画課 (☎⁹²⁾ 8302)



市ホームページ

防災訓練を夜間に実施

公式 L

NEで情報収集

発信

問い合わせ

危機管理室

(**3**998599)

田川市・庄原市と 災害時相互応援協定締結

寄

被以者寄

被災者寄り添い室の看板掛けを行う片岡市

長と河相室長

合わせ

総務課職員 三宅伸明

り添い室主幹

理兼保健福祉部被災者 総合政策部復興推進室長

総社市は、11月26日に福岡県田川市と、 29日に広島県庄原市と災害時における相互 応援に関する協定を締結。大規模災害が発生 した際、職員の派遣や食料・飲料水の供給、 必要な資機材の提供を行うことなどを定めて

います。 市が締結して いる災害時相互 応援協定は78 協 定、119 団 体(12月13 日現在)です。

問い合わせ 危機管理室(☎ 92 8599)



個別訪問し、

る被災者宅約450

世帯

を

仮設住宅などで生活す 室には市職員6人を配

の職員は次のとおりです

での職員6人。

課長級以

建相談やニーズ調査を行

-ズ調査を行い 今後の生活再

と木山耕三庄原市長(写真左から)